



ほけんだより

2023年7月発行
学校法人織田学園
おだ認定こども園

感染症等の情報は『連絡アプリ』
で随時お知らせしています！

- 5月の内科健診・6月の歯科健診の結果を『けんこうのきろく』でご家庭にお知らせしました。健診日のお迎え時間調整、朝の歯磨き、予防接種記録記入等、ご協力ありがとうございました。
- 6月感染症：RSウイルス、ヘルパンギーナ、手足口病、ヒトメタニューモウイルス、溶連菌感染症、おたふくかぜ疑い、アタマジラミ、他に発熱や咳・嘔吐の症状の夏風邪

●熱中症を予防しましょう

室温をうまく調整しよう

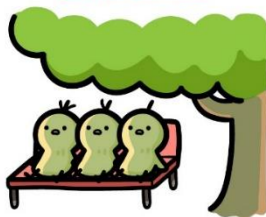
こまめに水分を補給しよう



帽子をかぶろう



日陰で休もう



- 前日の睡眠不足、朝食を食べない、疲れている、などの体調で登園すると、熱中症のリスクが高まります。できること一つからでも、生活リズムを整えて、元気に夏を乗り切りましょう！

- 環境省『熱中症予防情報サイト』では、公式ラインやメール配信で熱中症警戒アラートなどの熱中症予防情報を発信しています。



●『夏風邪』『名もなき風邪』

6月の園内は『夏風邪』が流行し、発熱・嘔吐・咳等で延べ50名以上の早退者がいる状況でした。症状の多くは、急な高熱の後咳が続く、昼解熱し夜間高熱を繰り返す、のどの痛みによる食欲不振、見慣れない発疹などです。受診して診断名が付く場合もあれば『名もなき風邪』と説明を受ける家庭もありました。

夏風邪の多くは、つらい症状を緩和させながら回復を持ちますが、咳がひどく入院、熱性けいれんを起こす、川崎病の初期症状という場合もあります。

日本小児科学会小児救急フォーラム、都立小児総合や成育医療センター等、医療機関による研修では、保護者の『いつもとちがう？』という気づきは重要で、早期発見・治療に繋がるとのお話がありました。

今後も、お子さんの体調の気づきを保護者の方と共有し、健康な心と体を育てていきたいと思えます。

- ◎『熱が出やすい子どもの夏風邪 家庭での対処法と困ったときの相談窓口、感染予防対策』(NHK健康チャンネル)



●体調不良時の登園に関するお願い

- 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行して2か月が経過するところです。現在、全国的に様々な子どもの感染症が流行しています。また、新型コロナウイルス感染症も再び流行が増え、第9波の始まりとも報じられています。5月8日以降の園の感染対策と体調不良時の登園に関しては、次の通りです。

1 体調不良時の登園について

在園児本人が37.5℃以上の発熱、咳や嘔吐、下痢が続く等の症状がある時は、登園をお控えください。

2 同居家族の体調不良時の対応

同居するご家族に発熱等感染症を疑う症状がある場合も、元気なお子さんの行動制限はありません。通常通りお預かりをいたします。個別の対応やご心配なことは、遠慮なくお電話でご相談ください。

3 園の感染対策について

園では、手洗いの励行、室温を調節しながらの換気、清掃や接触頻度の高い箇所の消毒、職員は出勤前の体調確認を行い、個々の判断でマスクの着用をするなどの対策を行っています。

また、れんらくアプリ『園からのお知らせ』で、随時感染症流行状況等の情報をお知らせしています。